

低い精神障害者の所得保障

1ヶ月の平均収入	60,287円
無年金者	19.7%
本人の平均年齢	45.7歳
家族と同居している	72.9%
一般企業へ就労（アルバイト含む）	5.7%

「交通運賃に関する全国アンケート調査」（全国精神保健福祉会連合会、2015年、集約数は本人・家族約5000人）から

精神障害者の運賃割引

西鉄実施 4カ月大手私鉄初

西日本鉄道（本社・福岡市）が電車とバスの運賃割引を精神障害者保健福祉手帳（手帳）を持っている人にも適用し、4月からおとなも子どもも正規料金の半額になって4カ月。大手私鉄で西鉄が初の実施です。「負担が軽くなり通院しやすくなつた」など、喜びの声が広がっています。（西口友紀恵）

運賃の割引を受けるには切符を買う際に窓口で手帳を提示します。手帳1級の人は介護者の運賃も半額。おとなは定期券も半額です。

活動の場広がる

割引制度の適用を受け、障害者事業所「アトリエのぞみ」（福岡市）は、5月に西鉄バスを使つた遠足を実施しました。職員の富来雄（とみき・ゆう）さんが欠かせません。「半額で月に

（31）は「月1回のイベントの5、6千円負担が軽くなつた。

運動実り「うれしい」



バスを使った遠足を楽しむ人たち＝5月、福岡市内（富来さん提供）

作業所以外の場所にもいってみたい。活動の場が広がるのでうれしい」と声を弾めます。

身体・知的障害の手帳を持つ人の割引はすべての公共交通

事業者が実施している一方、精

神障害者への割引は事業者の判

断に委ねられています。実施は

鉄道、乗り合いバス、旅客船

の3事業で約3割（国土交通

省）と遅れている現状です。

「身体・知的障害者と同等に

扱ってほしい」と障害者の生

活と権利を守る全国連絡協議

会、全国精神保健福祉会連合会

などが割引制度の適用を求めて

粘り強くとりこんできました。

地元では、当事者の家族で

つくる福岡県精神障害者福祉会

連合会（福精連）が十数年前か

ら署名や県議会への請願、自治

体の意見書の国会提出などにと

りくみ、昨年は5万2千人分の

国会請願署名（全国）では約62万

人分）を集めました。西鉄と共

同で当事者の利用実態アンケー

ト調査（約700人が回答）も

7月に実施。9割の人が「割引

になれば利用回数を増やす」と

答えました。

精神障害者の多くは、年金や生活保護の利用など経済的に苦

れたい。活動の場が広がるのでうれしい生活で、作業所への通所、

それでも運賃収入に大きく影響し

ない見通しがたち、意見欄にび

っしり書かれた声と合わせ後押

しの力になりました。西鉄に続

き県内のJRバスやほかのバス

会社で割引を始めたところもあ

り、波及効果が大きい」と手ざ

たえを語ります。

障害者の生活と権利を守る福岡県連絡協議会（障福協）では長年、JR九州や西鉄などへの

申し入れや懇談を続けてきました。石松周会長は「割引率も身体

・知的障害者とすべて同等にな

り、大きな前進だ」と話します。

西鉄本社は「障害者差別解消

法が昨年施行され、導入へ向け

検討を進めました。運賃割引は

障害者の社会参加や自立支援に

必要だと考えています。制度を

広く知つてもらえるよう取り組

んでいく」と話しています。

大きい波及効果